

資料編

目 次

I 日本の観光を取り巻く状況

1. 国内人口・生産年齢人口	P3
2. 国内旅行人数の推移	P3
3. 一人当たりの国内宿泊観光旅行回数と宿泊数	P4
4. 観光消費額の推移	P4
5. 旅行参加形態	P5
6. 旅行の目的	P6
7. 訪日外国人旅行者について	
① 訪日外国人旅行者数	P7
② 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）	P7
8. 外国人観光客の来訪目的	P8
9. 国籍別訪日外国人の平均泊数	P10
10. 明日の日本を支える観光ビジョン	P10
11. 感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン	P11
12. 観光地域づくり法人（DMO）の概要	P11
13. 住宅宿泊事業法の概要	P12

II 滋賀県の観光を取り巻く状況

1. 滋賀県の人口	P13
2. 滋賀県観光入込客数	P13
3. 滋賀県観光消費額	P14
4. 滋賀県訪日外国人観光客	P14
5. 滋賀県客室稼働率	
① 客室稼働率の推移	P15
② 都道府県別客室稼働率	P15
③ 滋賀県の月別客室稼働率	P16
6. 滋賀県への来訪者について	
① 日帰り・宿泊の割合	P16
② 宿泊地	P17
③ 県内での宿泊数	P17
④ 来訪者の居住地	P17
⑤ 来訪者の年齢構成	P18
⑥ 同行者の種別	P18
⑦ 観光消費額単価	P19

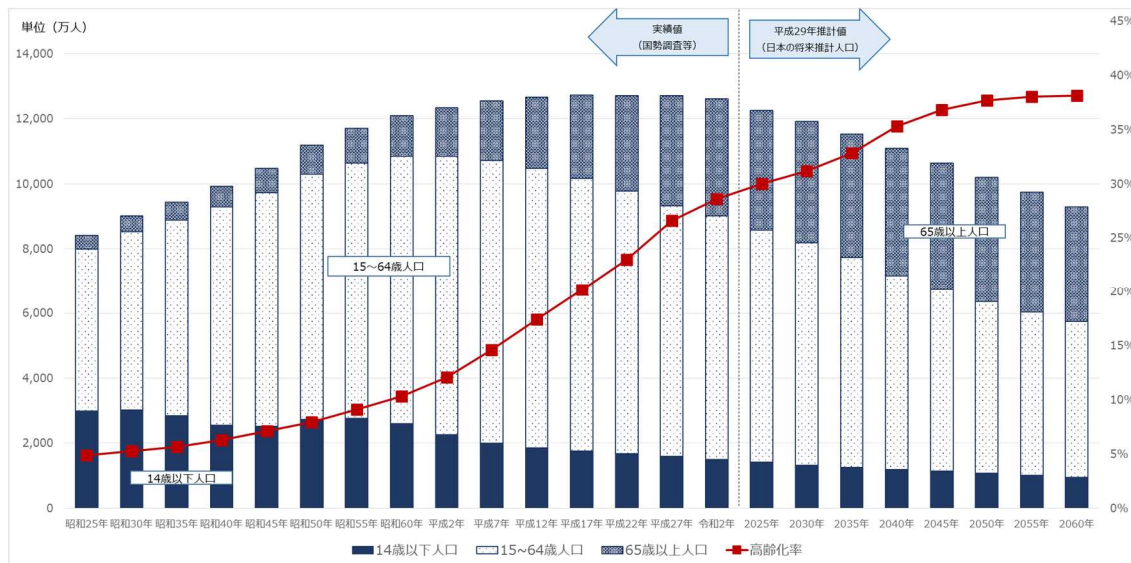
⑧ 来訪目的	P20
⑨ 満足度	P21
7. 滋賀県のイメージ	P21
8. 滋賀県来訪前後の滞在地	P21
9. 都道府県別自然公園面積割合	P22
10. 国指定の重要文化財（国宝含）指定件数	P22
11. 平均寿命	P23
12. 健康寿命	P23
13. ロケ誘致件数	P24
14. 都道府県別スポーツの年間行動者率	P24
15. 都道府県別国際会議開催件数	P25
16. 観光ボランティアガイド数	P25
17. 「びわ湖Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数	P26
18. 県外からの交通環境	P26
19. JNTO認定外国人観光案内所数	P27
20. 通訳案内士の数	P28
21. ビワイテ体験者数	P28

I 日本の観光を取り巻く状況

1. 国内人口・生産年齢人口

日本の総人口は今後も減少していくと推計されています。特に年少人口(0~14歳)や生産年齢人口(15~64歳)の減少が著しいため、高齢者人口(65歳以上)の相対的割合が上昇し続け、社会全体の高齢化がますます加速していくことになります。

図表 1 日本の人口推移と将来人口推計

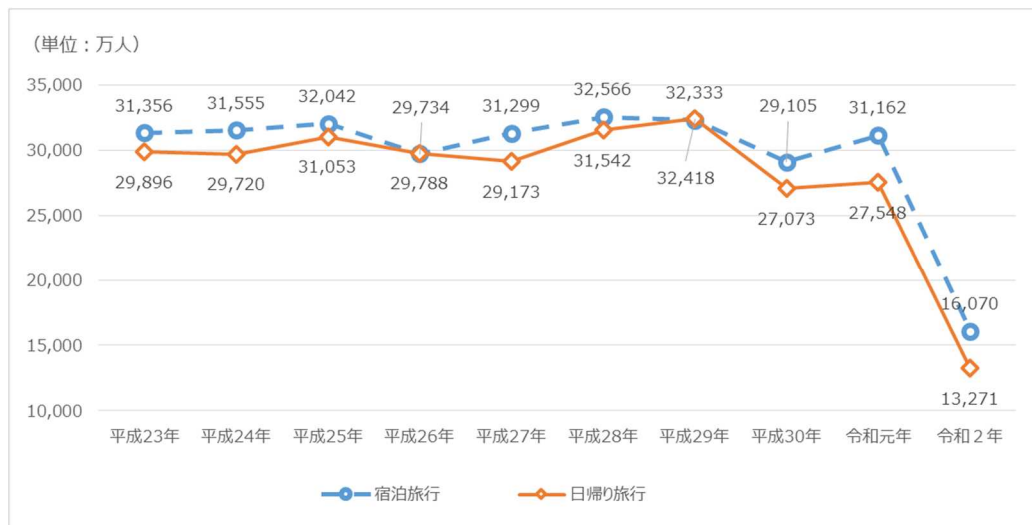


資料：2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）：出生中位・死亡中位推計」

2. 国内旅行人数の推移

国内旅行人数の推移をみると、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊・日帰りともに大きく減少しています。

図表 2 日本人国内旅行延べ人数の推移（宿泊・日帰り）

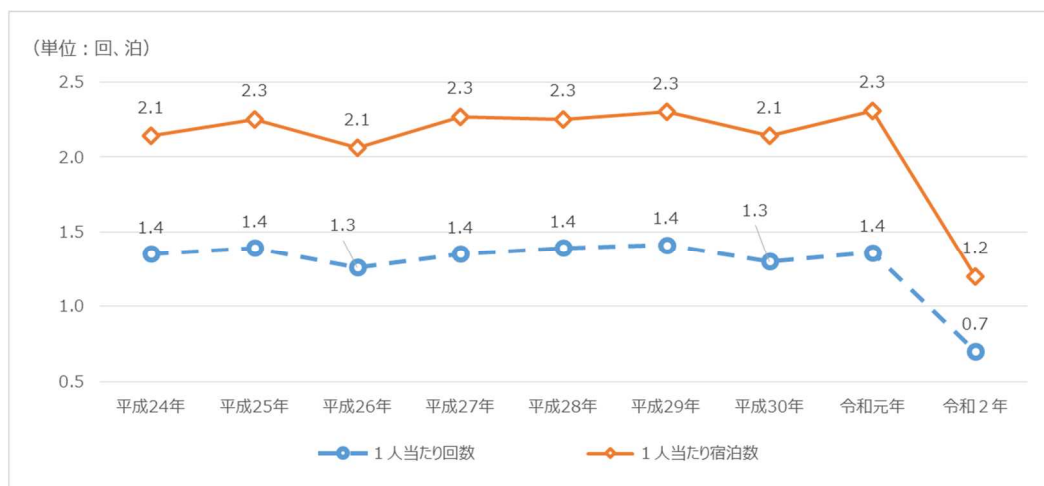


資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

3. 一人当たりの国内宿泊観光旅行回数と宿泊数

令和2年の国民一人当たりの国内宿泊観光旅行回数は0.7回、一人当たりの宿泊数は1.2泊と、前年を大きく下回りました。

図表 3 一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数の推移

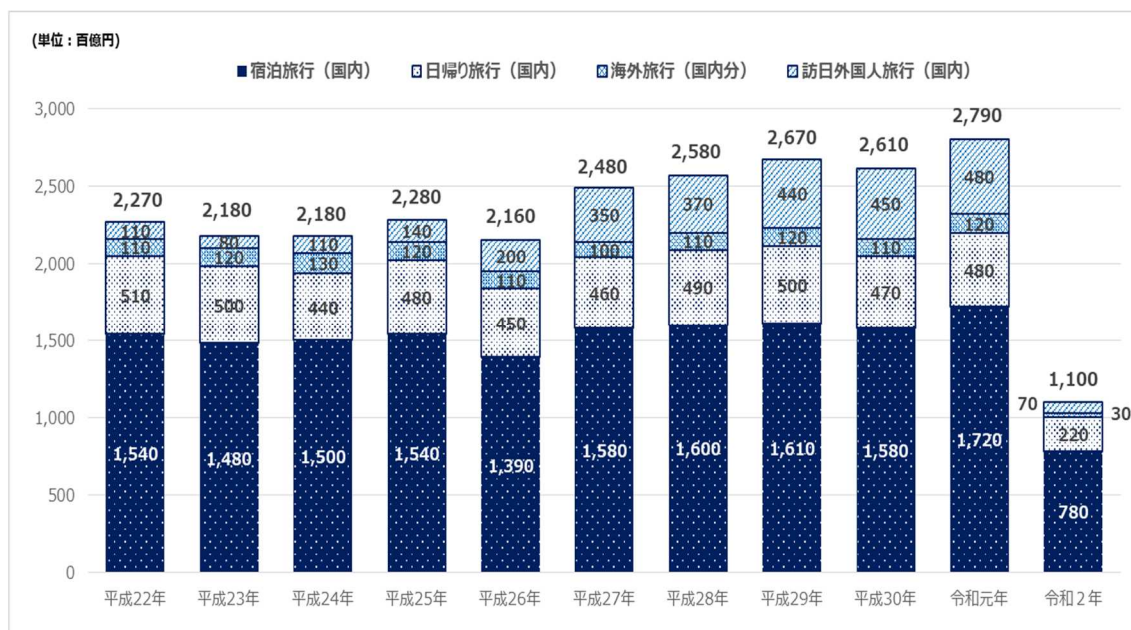


資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

4. 観光消費額の推移

日本国内の観光消費額は、令和元年にかけて大きく増加してきましたが、令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく減少し約11兆円となりました。

図表 4 日本国内の観光消費額の推移

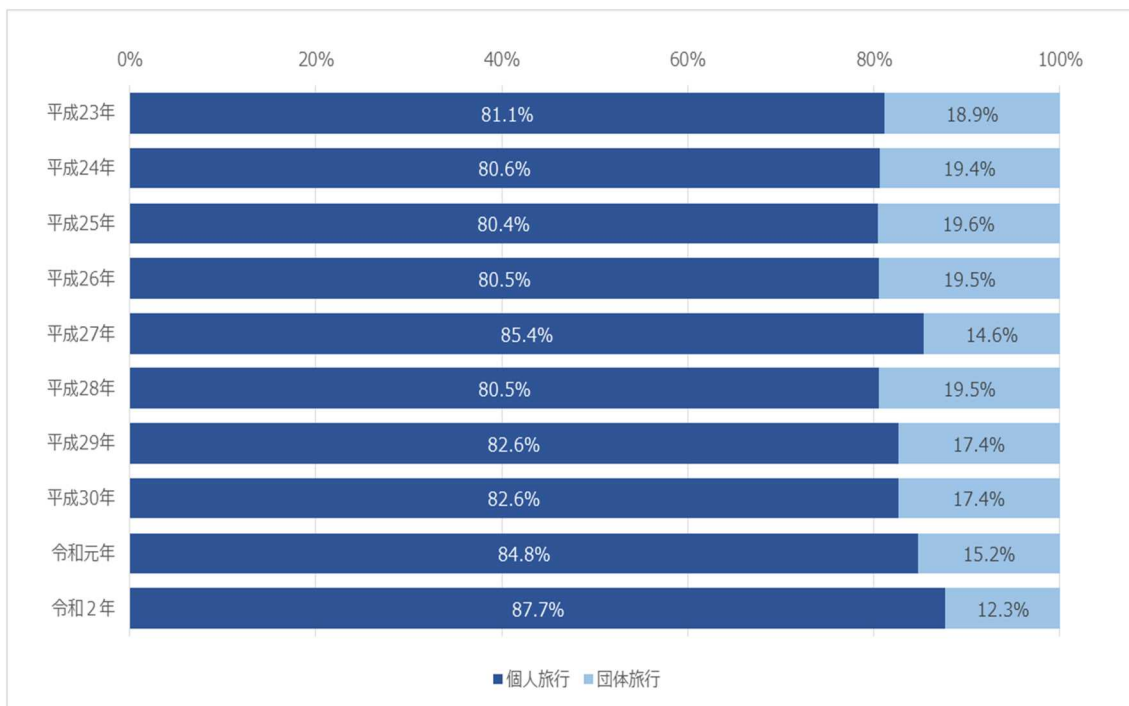


資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」より作成

5. 旅行参加形態

旅行参加形態をみると、個人旅行の割合は、平成23年から平成28年まで横ばい傾向でしたが、平成29年以降は増加傾向にあります。

図表 5 旅行参加形態（団体旅行・個人旅行）割合の推移

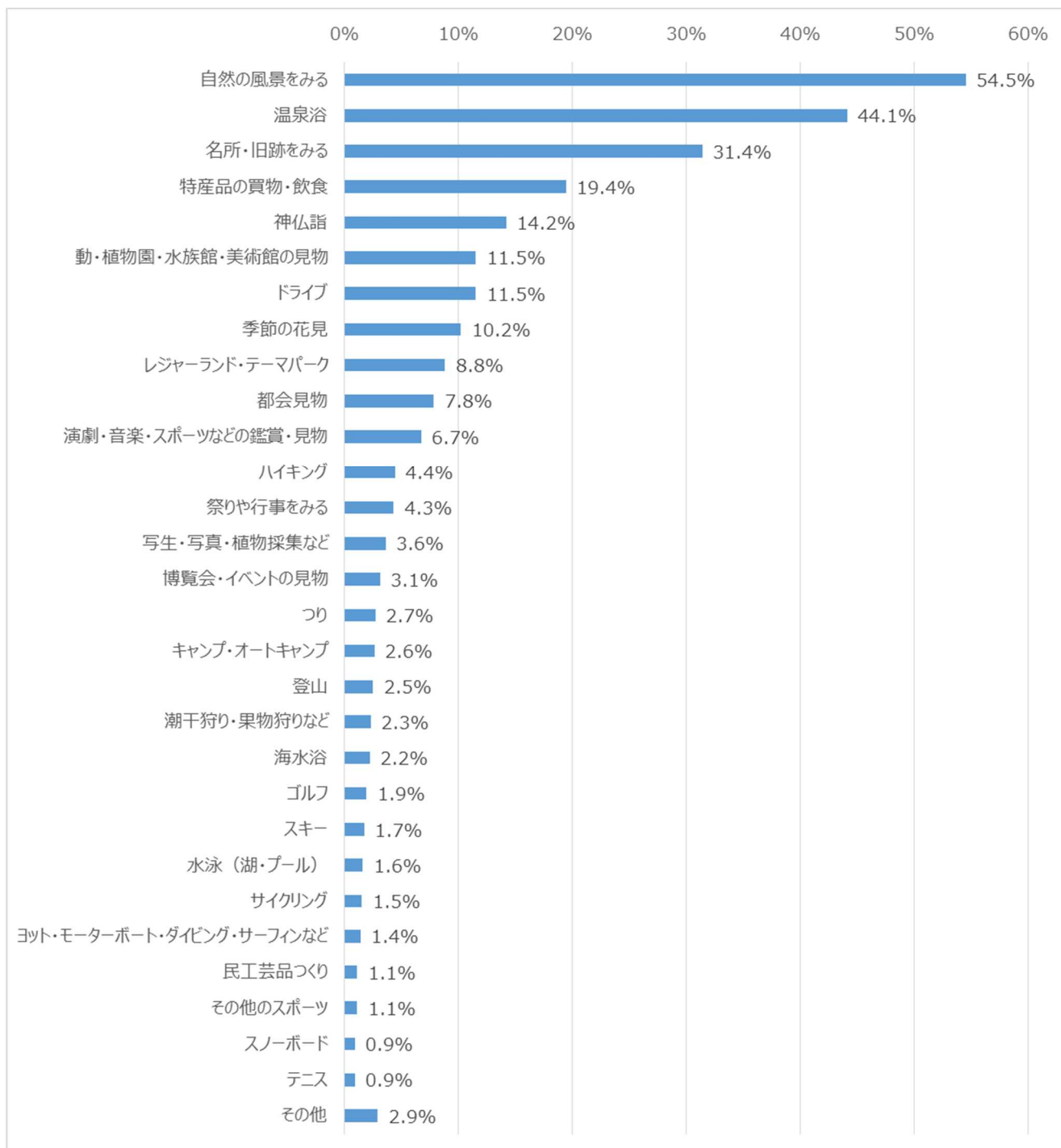


資料：（公社）日本観光振興協会「観光の実態と志向（令和3年度版）」より作成

6. 旅行の目的

旅行先でのすべての行動を回答してもらったところ、自然の風景を見る（54.5%）、温泉浴（44.1%）、名所・旧跡を見る（31.4%）と回答した人の割合が高くなっています。

図表 6 宿泊観光の旅先での行動



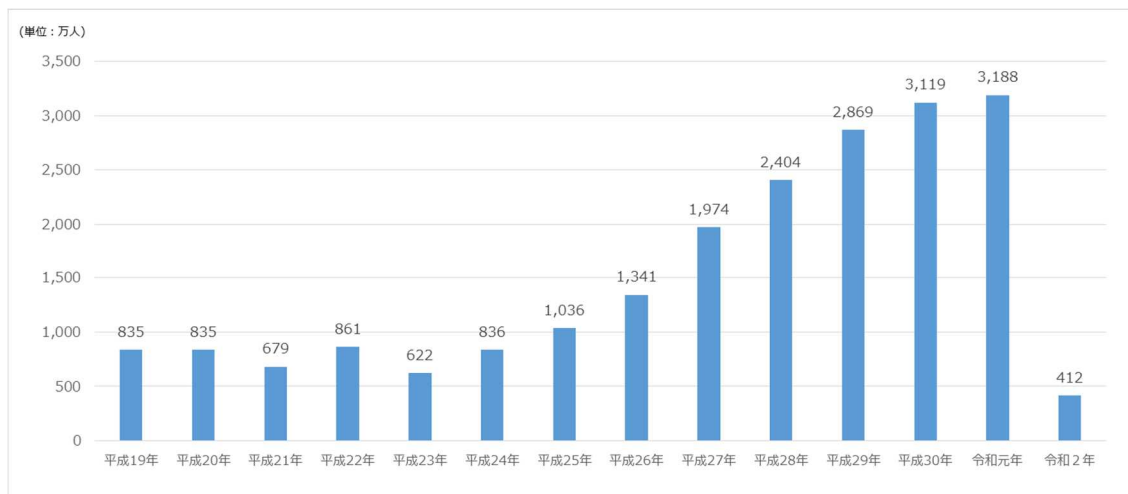
資料：（公社）日本観光振興協会「観光の実態と志向（令和3年度版）」

7. 訪日外国人旅行者について

① 訪日外国人旅行者数

訪日外国人旅行者数は、国をあげた誘客により令和元年にかけて大きく増加し、3,188万人と過去最高を記録しました。令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響の影響により大きく減少しました。

図表 7 訪日外国人旅行者数の推移



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」より作成

② 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）

訪日外国人延べ宿泊客数の国籍別推移をみると、令和元年の宿泊者数は、1位中国、2位台湾、3位韓国、4位アメリカ、5位香港の順となっています。令和2年の宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少しました。

図表 8 訪日外国人延べ宿泊者数（国籍別）の推移

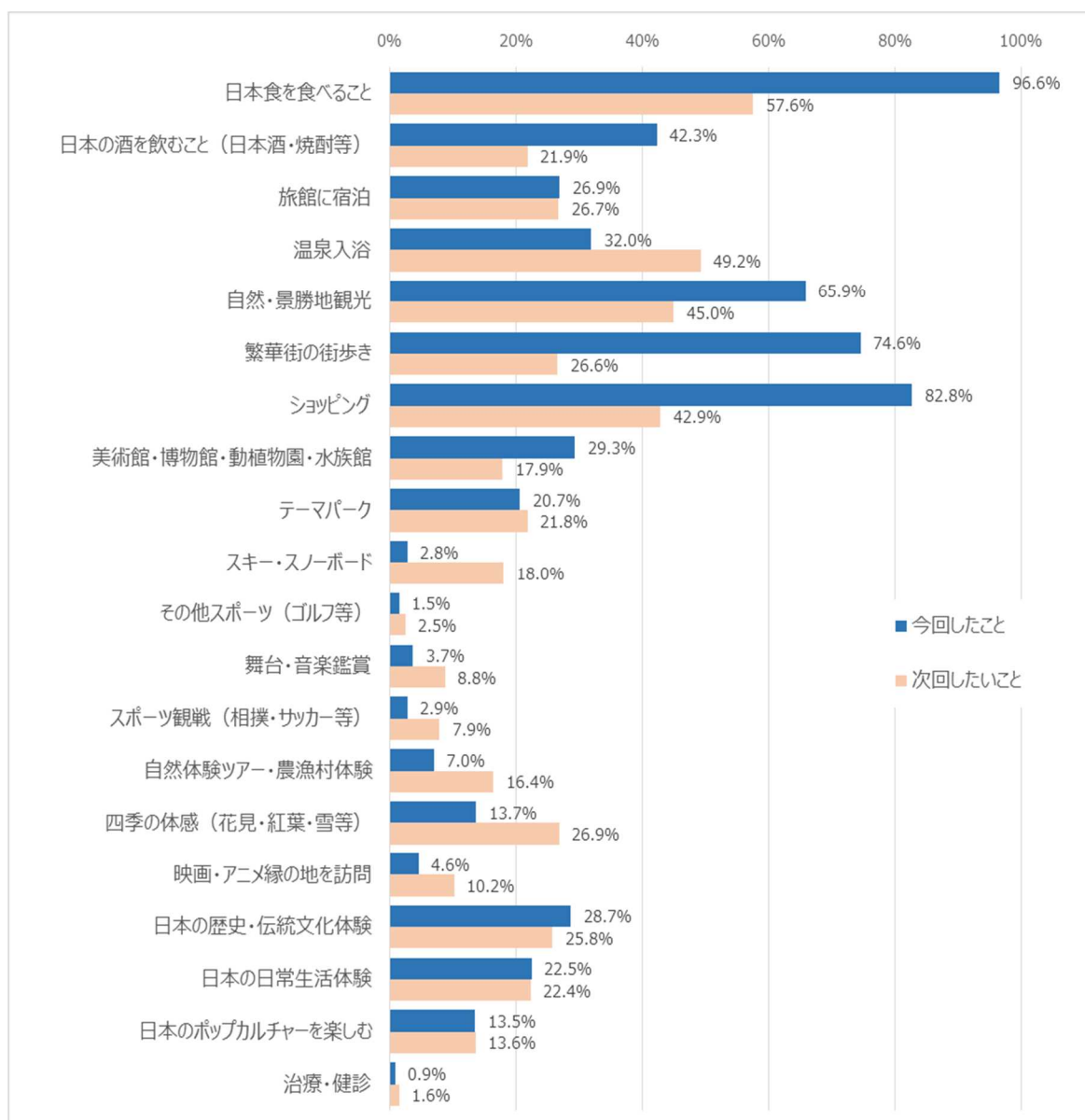


資料：観光庁 「宿泊旅行統計調査」

8. 外国人観光客の来訪目的

外国人旅行客が来訪して実際に体験したこととして、日本食、ショッピング、繁華街の街歩き、自然・景勝地観光と回答した人の割合が高くなっています。

図表9 外国人観光客の来訪目的(今回したことと次回したいこと)(複数回答)



資料：観光庁「訪日外国人の消費動向 2019年年度報告書」

図表 10 地域別来訪目的（次回したいこと順位の比較）

「次回したいこと」について地域別の順位をみると、「日本食を食べること」が1位となっています。また、「ショッピング」は、東アジア、東南アジアで全体より順位が高くなっており、「日本の歴史・伝統文化体験」はヨーロッパ、北米、オーストラリアで全体より順位が高くなっています。

順位	全体	東アジア計	東南アジア計
1位	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること
2位	温泉入浴	温泉入浴	ショッピング
3位	自然・景勝地観光	ショッピング	自然・景勝地観光
4位	ショッピング	自然・景勝地観光	温泉入浴
5位	旅館に宿泊	繁華街の街歩き	四季の体感
6位	繁華街の街歩き	旅館に宿泊	繁華街の街歩き
7位	四季の体感	四季の体感	旅館に宿泊
8位	日本の歴史・伝統文化体験	テーマパーク	テーマパーク
9位	テーマパーク	スキー・スノーボード	スキー・スノーボード
10位	日本の日常生活体験	日本の歴史・伝統文化体験	日本の歴史・伝統文化体験
11位	日本の酒を飲むこと	日本の日常生活体験	日本の日常生活体験
12位	スキー・スノーボード	日本の酒を飲むこと	自然体験ツアー・農漁村体験
13位	美術館・博物館等	美術館・博物館等	美術館・博物館等
14位	自然体験ツアー・農漁村体験	日本のポップカルチャーを楽しむ	日本の酒を飲むこと
15位	日本のポップカルチャーを楽しむ	自然体験ツアー・農漁村体験	日本のポップカルチャーを楽しむ
16位	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問
17位	舞台・音楽鑑賞	舞台・音楽鑑賞	舞台・音楽鑑賞
18位	スポーツ観戦	スポーツ観戦	スポーツ観戦
19位	その他スポーツ	その他スポーツ	その他スポーツ
20位	治療・健診	治療・健診	治療・健診

順位	全体	ヨーロッパ計	北米計	オーストラリア
1位	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること	日本食を食べること
2位	温泉入浴	自然・景勝地観光	自然・景勝地観光	自然・景勝地観光
3位	自然・景勝地観光	温泉入浴	日本の歴史・伝統文化体験	温泉入浴
4位	ショッピング	日本の歴史・伝統文化体験	温泉入浴	日本の歴史・伝統文化体験
5位	旅館に宿泊	四季の体感	四季の体感	四季の体感
6位	繁華街の街歩き	日本の日常生活体験	旅館に宿泊	旅館に宿泊
7位	四季の体感	旅館に宿泊	日本の日常生活体験	日本の酒を飲むこと
8位	日本の歴史・伝統文化体験	美術館・博物館等	日本の酒を飲むこと	ショッピング
9位	テーマパーク	日本の酒を飲むこと	美術館・博物館等	美術館・博物館等
10位	日本の日常生活体験	ショッピング	ショッピング	日本の日常生活体験
11位	日本の酒を飲むこと	自然体験ツアー・農漁村体験	繁華街の街歩き	スキー・スノーボード
12位	スキー・スノーボード	繁華街の街歩き	自然体験ツアー・農漁村体験	繁華街の街歩き
13位	美術館・博物館等	日本のポップカルチャーを楽しむ	日本のポップカルチャーを楽しむ	自然体験ツアー・農漁村体験
14位	自然体験ツアー・農漁村体験	舞台・音楽鑑賞	舞台・音楽鑑賞	テーマパーク
15位	日本のポップカルチャーを楽しむ	スポーツ観戦	テーマパーク	スポーツ観戦
16位	映画・アニメ縁の地を訪問	テーマパーク	スポーツ観戦	日本のポップカルチャーを楽しむ
17位	舞台・音楽鑑賞	映画・アニメ縁の地を訪問	スキー・スノーボード	舞台・音楽鑑賞
18位	スポーツ観戦	スキー・スノーボード	映画・アニメ縁の地を訪問	映画・アニメ縁の地を訪問
19位	その他スポーツ	その他スポーツ	その他スポーツ	その他スポーツ
20位	治療・健診	治療・健診	治療・健診	治療・健診

資料：観光庁「訪日外国人の消費動向 令和元年度報告書」

9. 国籍別訪日外国人の平均泊数

訪日客のうち、平均で10日以上滞在する国は10カ国ある一方、訪日客数の多い台湾、香港、韓国の観光客の滞在日数は比較的短くなっています。

図表 11 国籍別訪日外国人の平均泊数

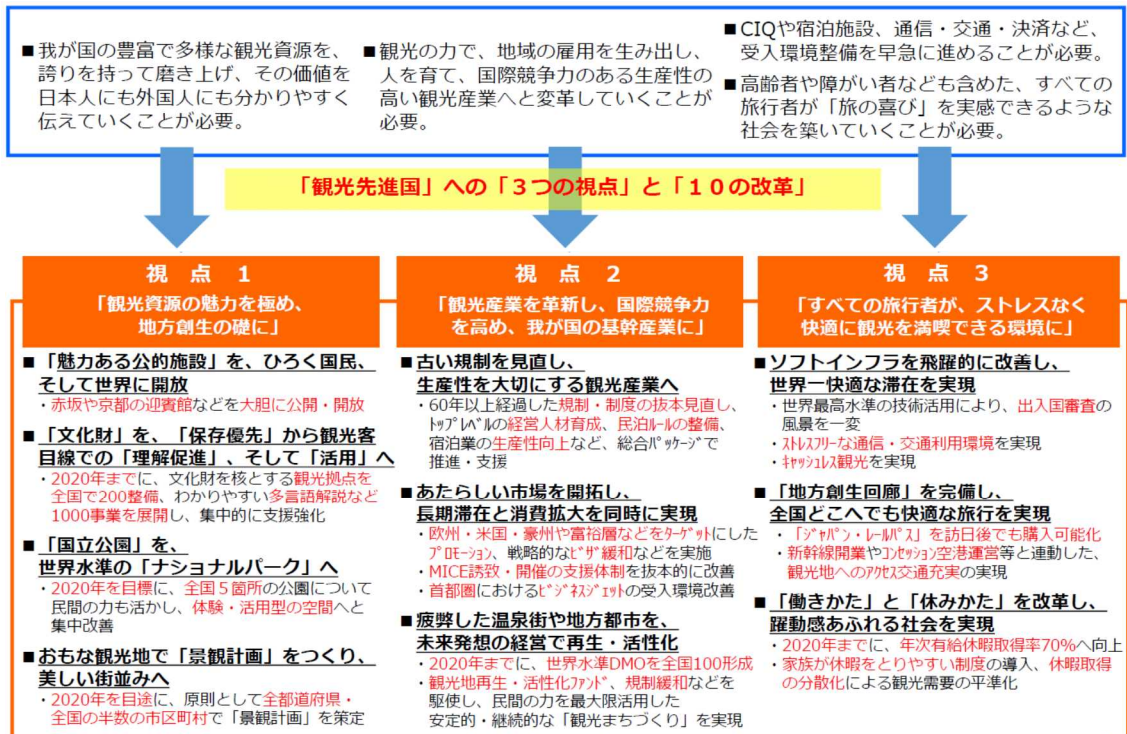
順位	調査項目	平均泊数	順位	調査項目	平均泊数
1位	フランス	14.5	12位	フィリピン	8.5
2位	ドイツ	14.0	13位	シンガポール	8.0
3位	イタリア	13.5	14位	インドネシア	7.5
4位	その他	13.5	15位	マレーシア	7.0
5位	オーストラリア	12.9	16位	ベトナム	6.6
6位	スペイン	12.7	17位	中国	5.8
7位	英国	11.5	18位	タイ	5.7
8位	カナダ	11.2	19位	香港	5.6
9位	インド	10.8	20位	台湾	5.2
10位	ロシア	10.0	21位	韓国	3.3
11位	米国	9.4		全体	6.2

資料：観光庁 「2019年訪日外国人消費動向調査」

10. 明日の日本を支える観光ビジョン

政府は、「観光先進国」への新たな国づくりに向けて、「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、2030年の数値目標を設定しています。

図表 12 明日の日本を支える観光ビジョン



【数値目標】


訪日外国人旅行者数	2020年： 4,000万人 (2015年の約2倍)	2030年： 6,000万人 (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： 8兆円 (2015年の2倍超)	2030年： 15兆円 (2015年の4倍超)
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： 7,000万人泊 (2015年の3倍弱)	2030年： 1億3,000万人泊 (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： 2,400万人 (2015年の約2倍)	2030年： 3,600万人 (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： 21兆円 (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： 22兆円 (最近5年間の平均から約10%増)

資料：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」

11. 感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン

政府は、感染拡大防止を徹底しつつ、当面の観光需要の回復に向け、政府一丸となって我が国の観光の復活を目指すため、「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン」を決定しました。

図表13 感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン

感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン（概要） 別紙1 

- 観光には全国で約900万人の方が従事。雇用の維持と事業の継続が極めて重要。
- 今後は、**感染拡大防止策の徹底を大前提に、当面の観光需要の回復を担う日本人国内旅行の需要を強力に喚起しつつ、本格的なインバウンド回復に備えた取組を進める。**
- まずは**感染拡大防止策の徹底**。その上で、**Go To トラベル事業を延長し、ワーケーション等を普及させつつ、国内の観光需要を喚起。**
- 併せて、**本格的なインバウンド回復に向け、国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生、魅力的な滞在コンテンツ造成、観光地等の受入環境整備、国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活の取組を推進する。**

(1) 感染拡大防止策の徹底とGo To トラベル事業の延長等

- 感染拡大防止策の徹底
 - ・事業者と旅行者双方の感染拡大防止策の着実な実施（業種別ガイドライン、新たな旅のエチケット等）
 - ・Go To トラベルにおける感染拡大防止策徹底
- Go To トラベル事業の延長
 - ・例えば、中小事業者、被災地など観光需要の回復が遅れている事業者・地域へ配慮しつつ、Go To トラベルを延長、感染状況を踏まえて適切に運用
- ワーケーション等の普及
 - ・企業と地域双方の環境整備や、マッチング実施による企業と地域の継続的な関係性の構築

(2) 国の支援によるホテル、旅館、観光街等の再生

- ・観光施設を再生し、さらに地域全体で魅力と収益力を高めるため、**新たな補助制度を創設、融資制度を大幅に拡充**して、短期集中で強力に支援。具体的には、
 - ①観光施設全体が再生できるような施設改修に対する補助制度（負担割合1/2）と、経営革新等の専門家による支援制度を創設するとともに融資制度を大幅に拡充。
 - ②地域の観光まちづくりの取組と連携した廃屋の撤去等についても新たに支援し、一挙に観光地としての景観を改善。
 - ③事業承継や事業統合、宿泊事業者間等での連携・協業を支援し、宿の収益性を改善、魅力を向上。
 - ④公共施設の魅力と収益力を向上すべく、これらの施設において民間活力を導入する場合の施設改修を支援。

(3) 国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツ充実

- ・地域に残る縦割りの打破と地域に眠る観光資源の磨き上げ
- ・スノーリゾートやアドベンチャーツーリズム等の高付加価値・滞在型コンテンツの造成
- ・城や社寺、古民家、グランピング等の個性ある宿泊施設整備
- ・上質なサービスを求める観光客誘致のための環境整備
- ・デジタル技術を活用したコンテンツ磨き上げ等

(4) 観光地等の受入環境整備

- ・観光地等における多言語対応、無料Wi-Fi等の整備等の促進
- ・最先端技術を活用したストレスフリーな旅行の実現
- ・観光地等におけるハード・ソフト両面からのバリアフリーの促進

(5) 国内外の感染状況等を見極めた上でのインバウンドの段階的復活

- ・国内外の感染状況等を見極めつつ、感染状況が落ち着いている国・地域から、ビジネストラックに進じた**防疫措置**を徹底の上、管理された**小規模分散型パッケージツアー**を試行的に実施
- ・我が国の観光資源を含む多様な魅力や**安全・安心への取組**に関する**情報等の発信**による訪日プロモーションの実施

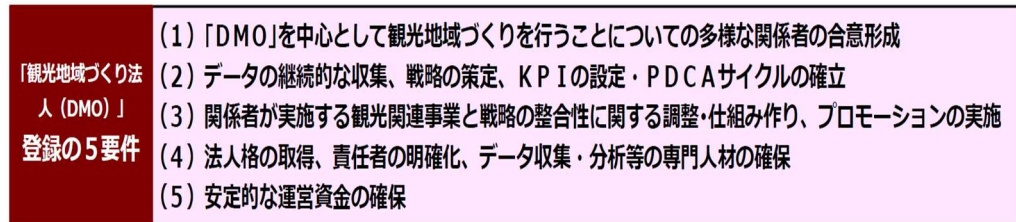
12. 観光地域づくり法人（DMO）の概要

観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。観光庁においては、観光地域づくり法人の形成・確立を支援するため、DMO登録制度を創設されています。令和3年11月4日時点で、計213件の法人が登録されています。

図表 14 観光地域づくり法人（DMO）の概要



資料：観光庁「観光地域づくり法人（DMO）の形成・確立」

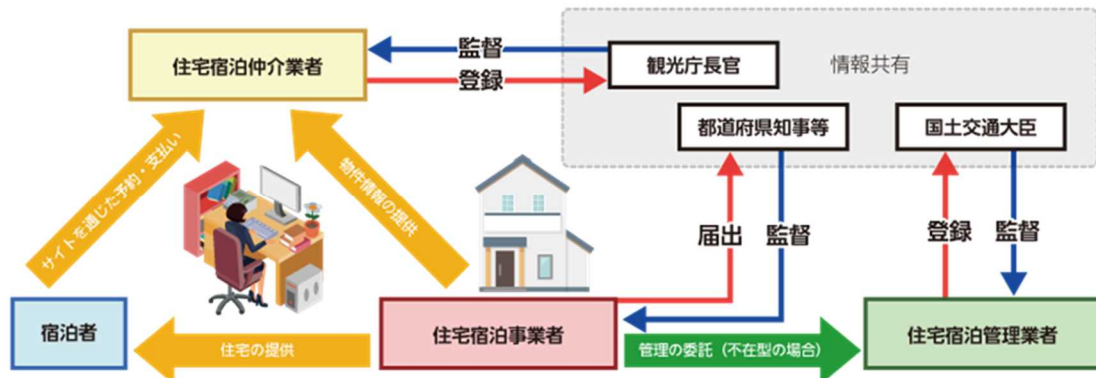


資料：観光庁「日本版DMO登録手続きの流れ」

13. 住宅宿泊事業法の概要

住宅宿泊事業法では、日本でも急速に普及する民泊サービスについて、多様化する宿泊ニーズ等への対応や公衆衛生の確保、地域住民等とのトラブル防止等のため、住宅宿泊事業者の都道府県知事への届出、住宅宿泊仲介業者の観光庁長官への登録、住宅宿泊管理業者への国土交通大臣への登録を義務付けています。

図表 15 住宅宿泊事業法の概要



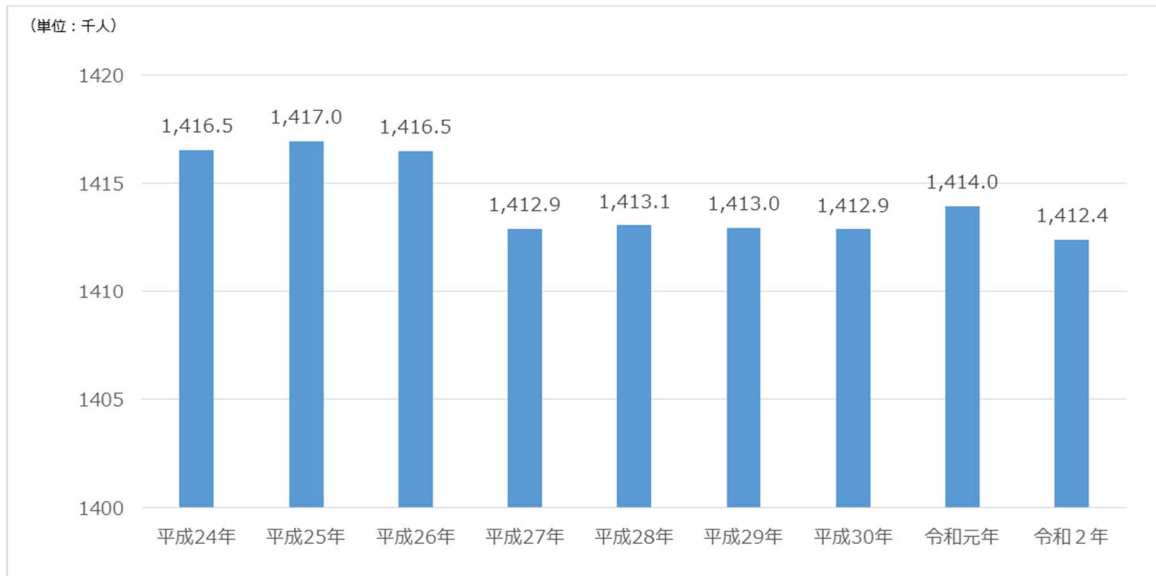
資料：観光庁「住宅宿泊事業法の概要」

II 滋賀県の観光を取り巻く状況

1. 滋賀県の人口

滋賀県の人口は、平成 25 年ごろをピークに、減少局面にあります。

図表 16 滋賀県の人口推移

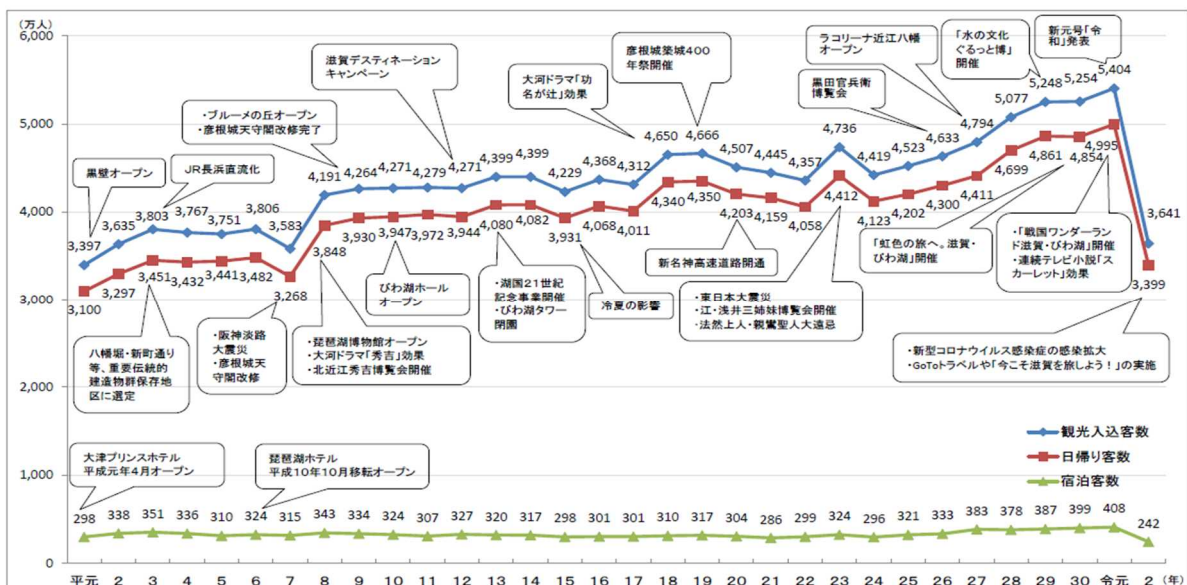


資料：総務省「国勢調査」、滋賀県「滋賀県推計人口年報」より作成

2. 滋賀県観光入込客数

滋賀県を訪れる観光客数は、平成 23 年以降増加し、令和元年には 5,404 万人と過去最高を記録しましたが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、日帰り客数、宿泊客数ともに大きく減少しました。

図表 17 滋賀県観光入込客数の推移

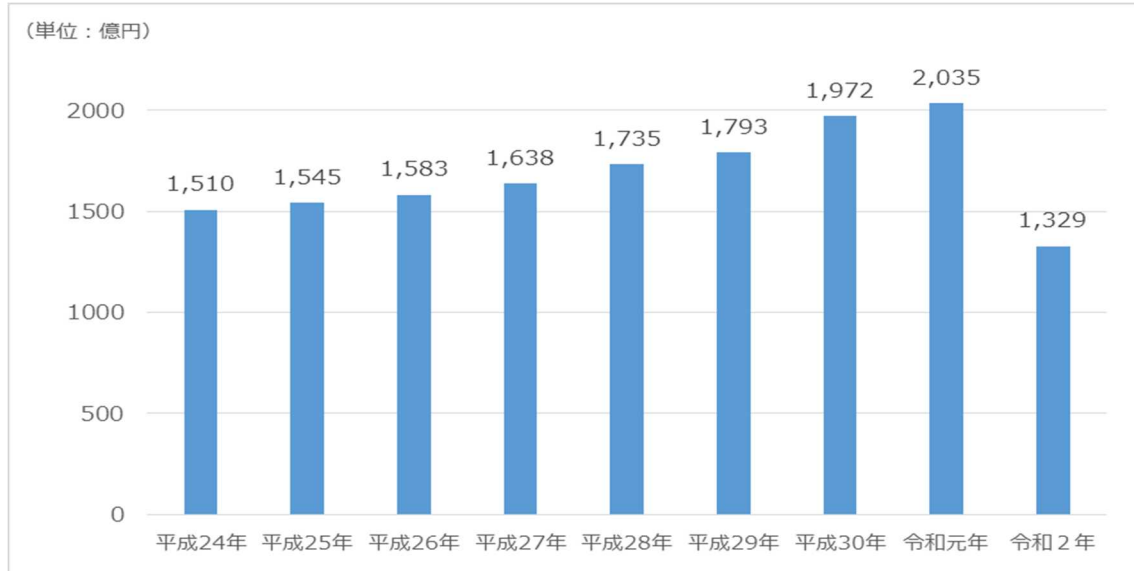


資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光入込客統計調査」

3. 滋賀県観光消費額

滋賀県の観光消費額の推移をみると、平成24年以降増加傾向となっていました。令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく減少しました。

図表 18 滋賀県観光消費額の推移

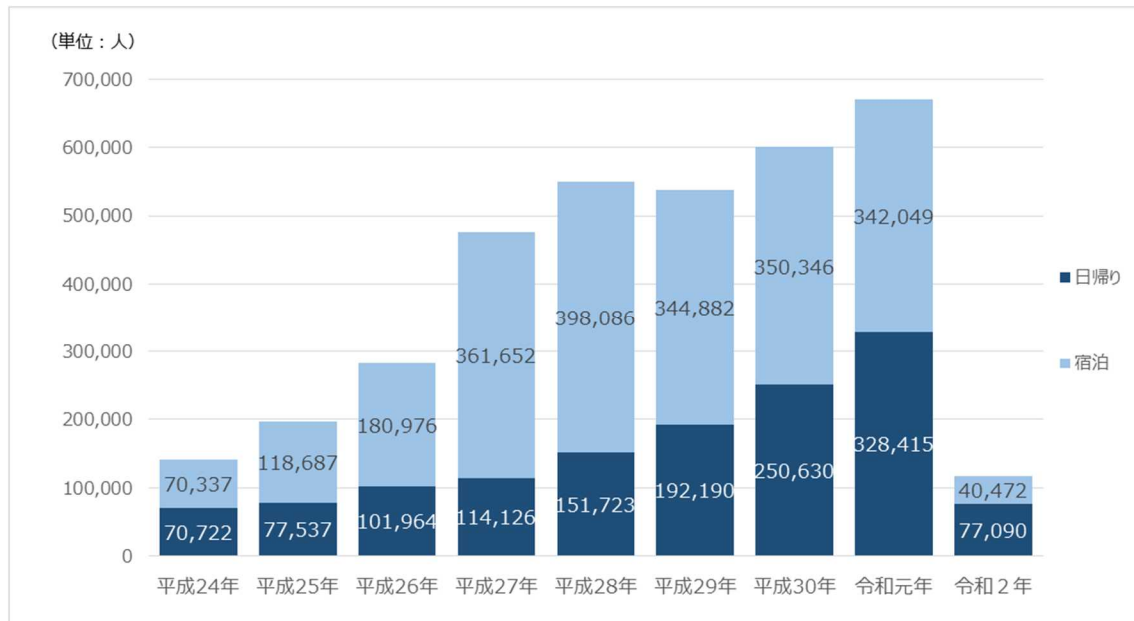


資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光入込客統計調査」

4. 滋賀県訪日外国人観光客

滋賀県の訪日外国人観光客数は、令和元年まで年々増加し、特に平成27年に大きく増加しました。一方、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく減少しました。

図表 19 滋賀県訪日外国人観光客数の推移



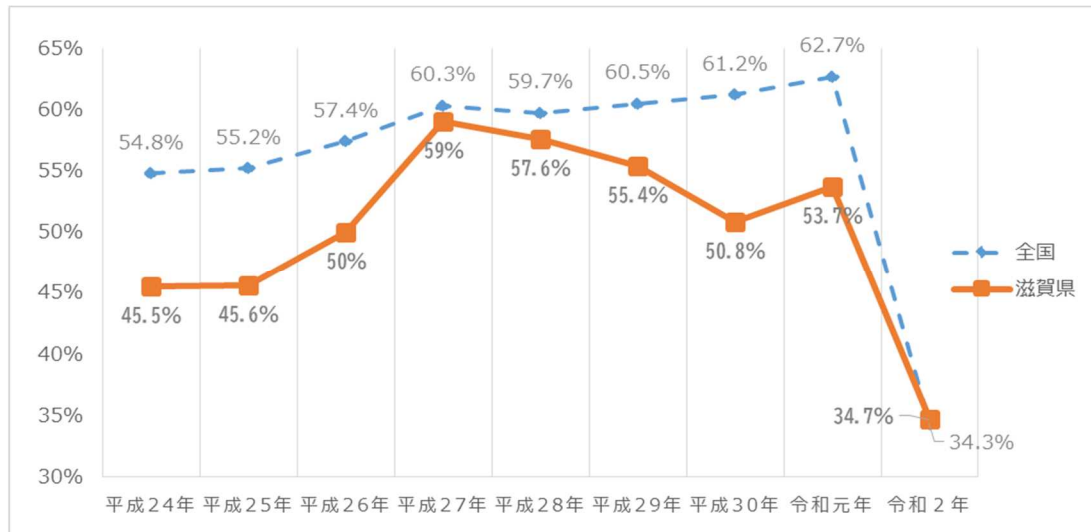
資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光入込客統計調査」より作成

5. 滋賀県客室稼働率

① 客室稼働率の推移

令和元年までの滋賀県の客室稼働率については、全国平均と比べてやや低い水準で推移してきました。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく下がりましたが、全国平均よりも0.4pt上回りました。

図表 20 全国と滋賀県の客室稼働率の推移（年計）

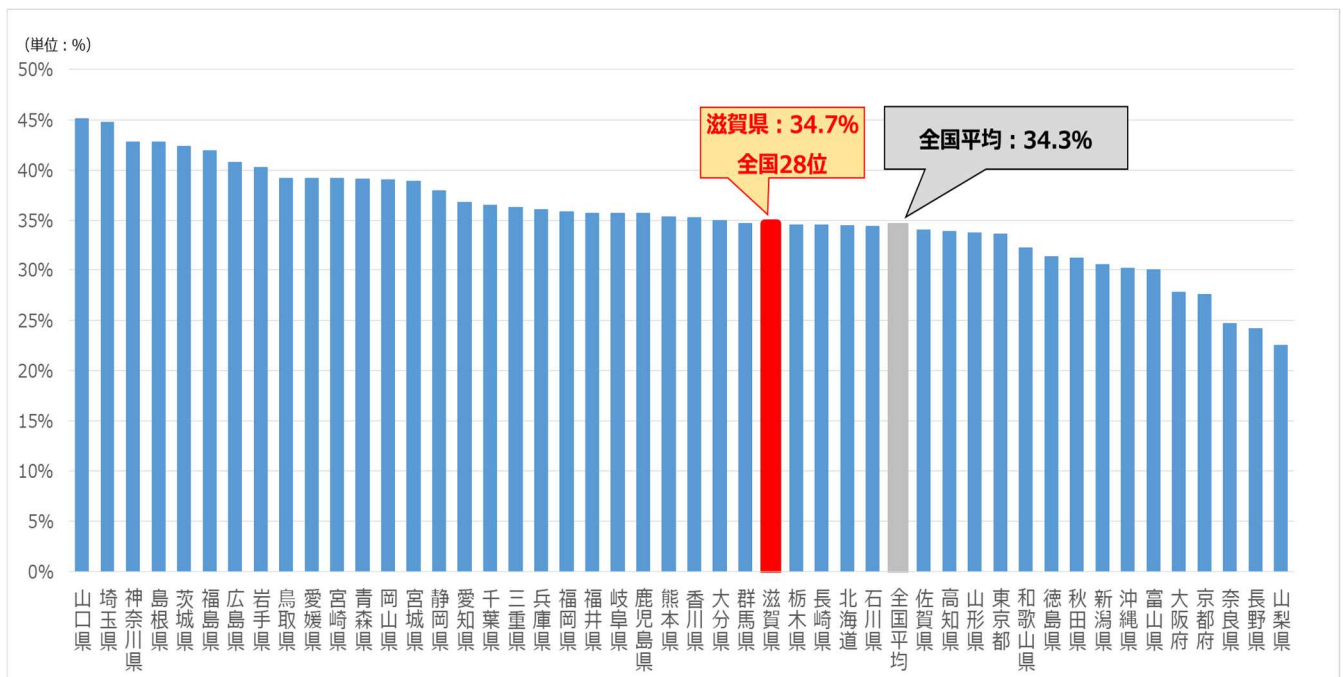


資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

② 都道府県別客室稼働率

令和2年の客室稼働率は34.7%で、全国28位となっています。

図表 21 都道府県別客室稼働率

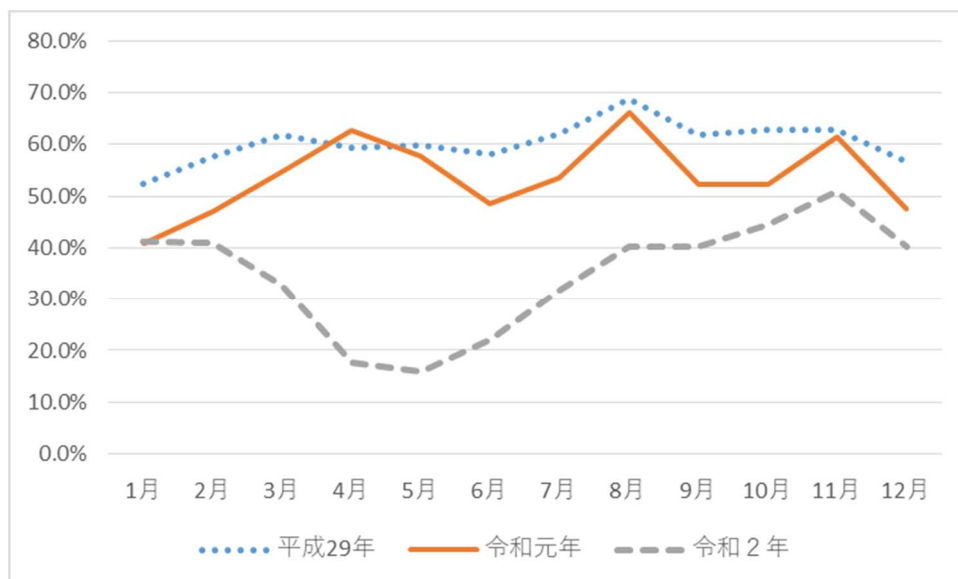


資料：観光庁「令和2年宿泊旅行統計調査」より作成

③ 滋賀県の月別客室稼働率

月別の客室稼働率をみると、令和元年では、稼働率が60%を超えているのは4月、8月、11月で、50%未満となっているのは1月、2月、6月、12月となっています。滋賀県では、比較的冬場の客室稼働率が低い傾向にあることがわかります。

図表 22 滋賀県の月別客室稼働率



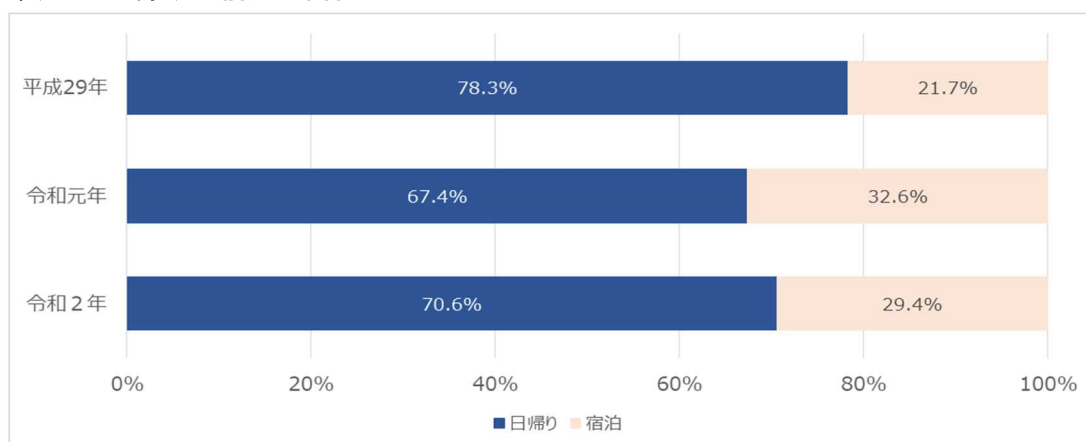
資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

6. 滋賀県への来訪者について

① 日帰り・宿泊の割合

滋賀県への来訪者の日帰り・宿泊の割合をみると、平成29年と比較して、令和元年、令和2年ともに日帰り客の割合が低下していますが、およそ7割前後が日帰り客となっています。（宿泊客の中には県外で宿泊した人も含む）

図表 23 日帰り・宿泊の割合

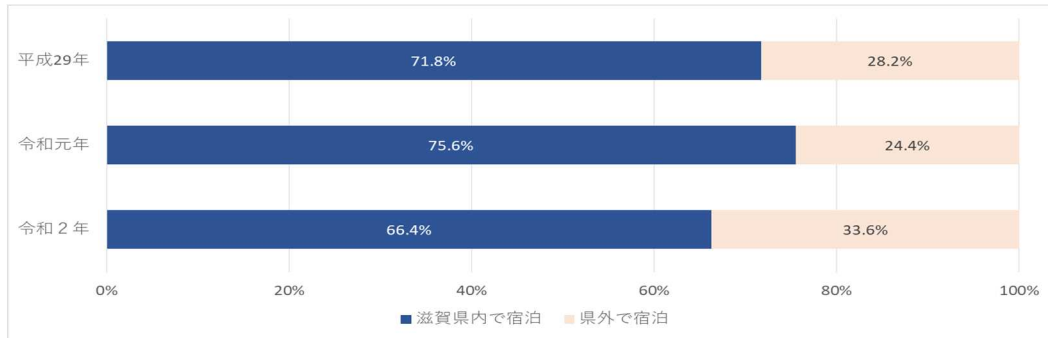


資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光統計調査」より作成

② 宿泊地

宿泊を伴う観光で滋賀県を訪れた人の宿泊地は、令和2年は滋賀県内が66.4%、県外が33.6%となっており、平成29年と比較して県内宿泊の割合は低下しています。

図表 24 宿泊地

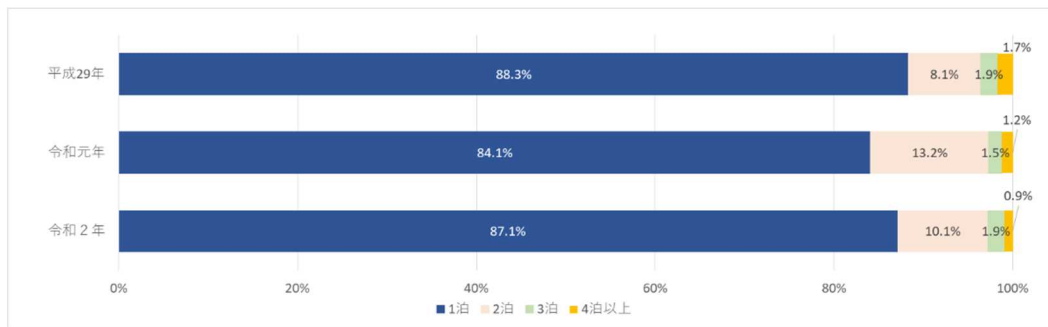


資料:滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光統計調査」より作成

③ 県内での宿泊数

県内での宿泊数は1泊が8割以上を占めており、平成25年と比較してやや比率が増加しています。

図表 25 県内での宿泊数

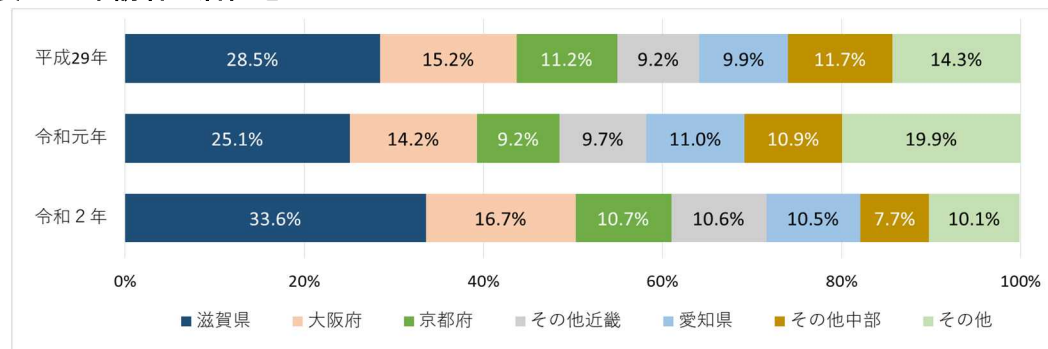


資料:滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光統計調査」より作成

④ 来訪者の居住地

観光客の居住地内訳では、近畿や中部からの来訪が約8割から9割を占めています。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、近隣からの割合が増加(マイクロツーリズムが進展)しました。

図表 26 来訪者の居住地

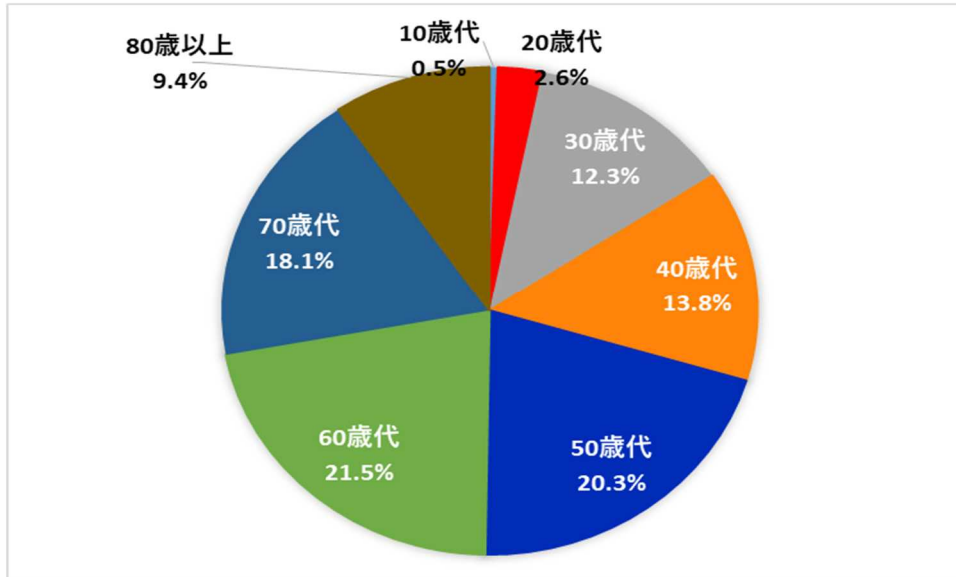


資料:滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光統計調査」より作成

⑤ 来訪者の年齢構成

来訪者の年齢構成を年代別で見ると、60歳代が21.5%と最も多く、続いて50歳代が20.3%となっており、50歳代以上が約7割を占めています。

図表 27 来訪者の年齢構成

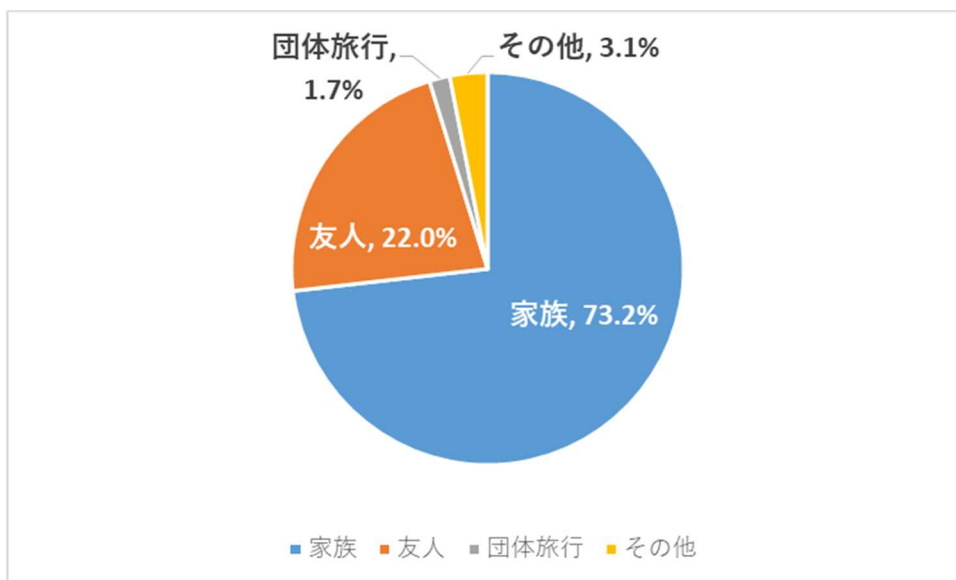


資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「令和2年度滋賀県観光統計調査」より作成

⑥ 同行者の種別

2人以上の場合の旅行の同行者の種別は、家族が7割以上を占めています。

図表 28 同行者の種別

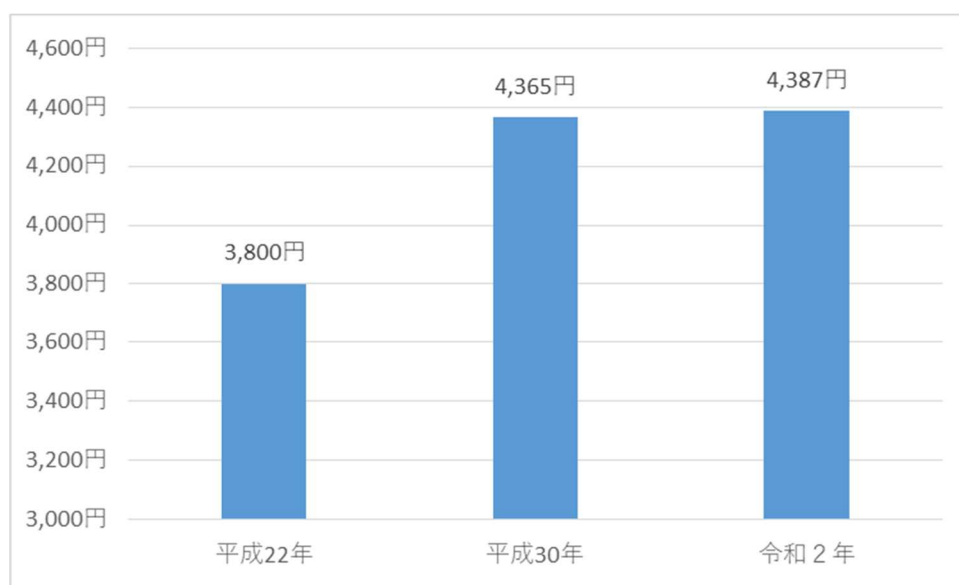


資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局「令和2年度滋賀県観光統計調査」より作成

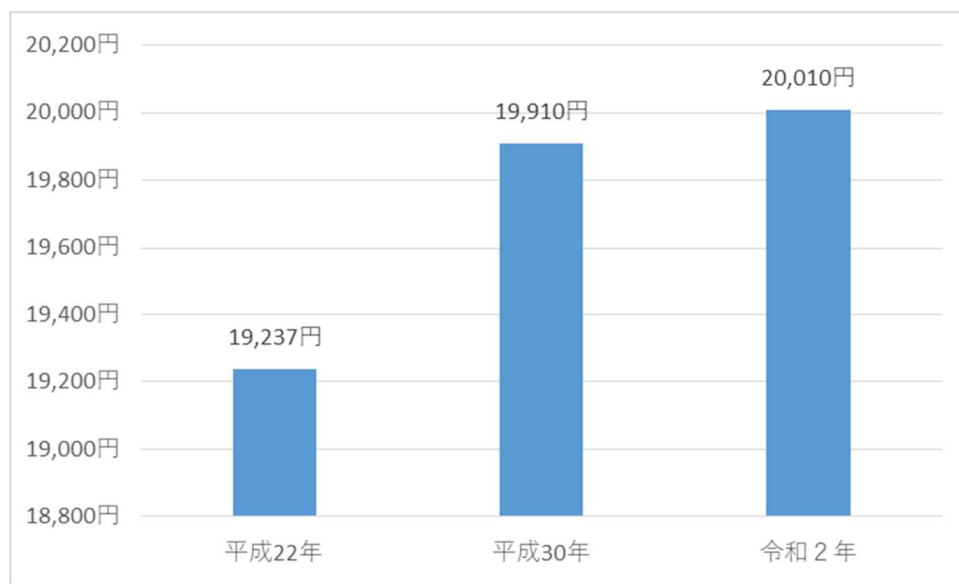
⑦ 観光消費額単価

令和2年の観光消費額単価は日帰りが4,387円、宿泊が20,010円となっており、宿泊客は日帰り客の約5倍を支出しています。

図表 29-1 観光消費額単価（日帰り）



図表 29-2 観光消費額単価（宿泊）

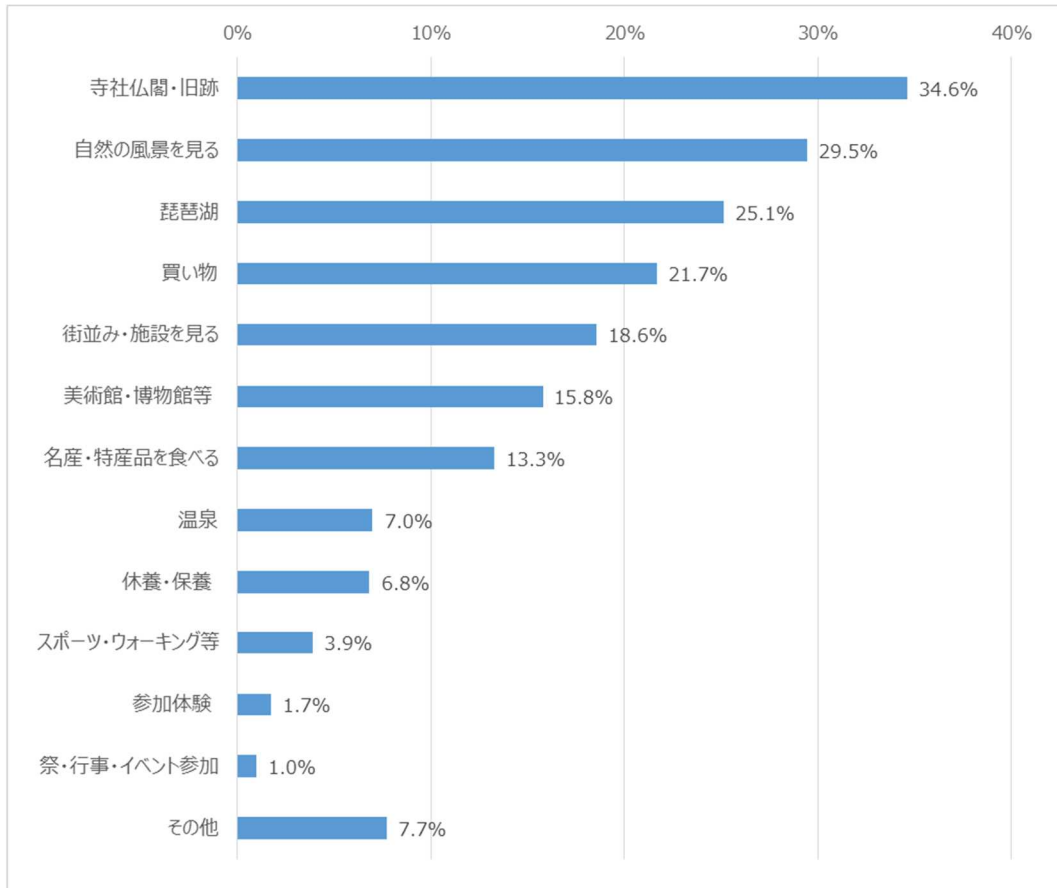


資料: 滋賀県商工観光労働部観光振興局「滋賀県観光統計調査」より作成

⑧ 来訪目的

主な来訪目的は、神社仏閣・旧跡(34.6%)、自然の風景を見る(29.5%)、琵琶湖(25.1%)
買い物(21.7%)などとなっています。

図表 30 来訪目的 (複数回答)



資料: 滋賀県商工労働部観光振興局「令和2年度滋賀県観光統計調査」

図表 31 訪問した滋賀のスポット (複数回答)

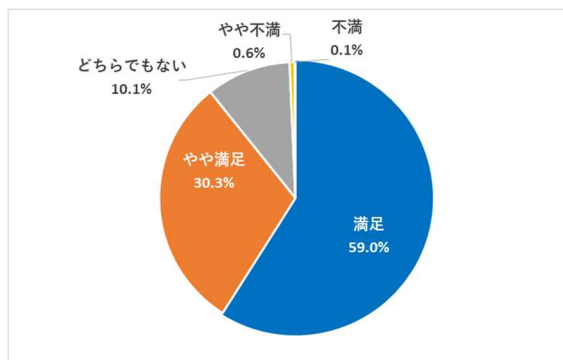
順位	内容	回答数	%	順位	内容	回答数	%
1位	近江牛	323	36.3	10位	その他	96	10.8
2位	彦根城	310	34.8	12位	近江米	90	10.1
3位	比叡山延暦寺	189	21.2	13位	多賀大社	87	9.8
4位	石山寺	175	19.7	13位	三井寺	87	9.8
5位	長浜城 (博物館)	123	13.8	15位	安土城址	81	9.1
6位	比叡山ドライブウェイ	119	13.4	16位	信楽・陶器の町	74	8.3
7位	黒壁ガラス館	108	12.1	17位	日吉大社	73	8.2
8位	竜王アウトレット	102	11.5	18位	長濱オルゴール堂	72	8.1
9位	琵琶湖クルーズ	100	11.2	19位	伊吹山	71	8.0
10位	鯖寿司	96	10.8	19位	竹生島	71	8.0

資料: 滋賀県商工労働部観光振興局「平成27年滋賀県観光マーケティング分析結果報告書」

⑨ 満足度

滋賀県観光の全体的な満足度をみると、「満足」「やや満足」を合わせた割合は、8割以上を占めています。

図表 32 満足度



資料: 滋賀県商工観光労働部観光振興局「令和2年滋賀県観光統計調査」より作成

7. 滋賀県のイメージ

「地域ブランド調査」によると、令和3年における滋賀県の魅力度、認知度、観光意欲度では前年と比較してスコアが上昇しているものの、全国順位で見ると下落しており、全体としては横ばいで推移しています。

図表 33 主な指標の推移

	平成29年		平成30年		平成31年(令和元年)		令和2年		令和3年	
	スコア	全国順位	スコア	全国順位	スコア	全国順位	スコア	全国順位	スコア	全国順位
魅力度	13.4	28位	13.9	38位	13.1	39位	14.3	37位	16.8	38位
認知度	46.4	26位	48.4	20位	45.9	26位	45.5	24位	46.9	33位
観光意欲度	29.3	38位	29.1	37位	28.5	40位	28.6	38位	34.4	42位
情報接触度	33.1	32位	34.0	33位	35.8	26位	32.1	34位	31.1	39位
食品想起率	5.9	42位	8.8	41位	6.5	45位	6.2	47位	9.4	46位
食品以外想起率	0.7	39位	2.2	27位	1.6	37位	2.0	20位	3.9	14位

資料: ブランド総合研究所「地域ブランド調査」より作成

※「地域ブランド調査」は、ブランド総合研究所によって全国約3万人の消費者からの回答を集めて毎年実施され、各都道府県の認知度やイメージ、観光・産品購入の意欲など多岐にわたる項目について調査するものです。

8. 滋賀県来訪前後の滞在

訪日外国人の滋賀県訪問前後の滞在地をみると、訪問前も訪問後も上位3府県は近畿圏（京都府、大阪府、兵庫県）となっています。

図表 34 滋賀県来訪前後の滞在地（訪日外国人）

滋賀県の滞在直前に滞在した地域			滋賀県の滞在直後に滞在した地域		
1位	京都府	31.6%	1位	京都府	25.5%
2位	大阪府	18.9%	2位	大阪府	24.7%
3位	兵庫県	8.2%	3位	兵庫県	8.6%
4位	奈良県	8.1%	4位	滋賀県	7.8%
5位	滋賀県	7.3%	5位	愛知県	6.2%

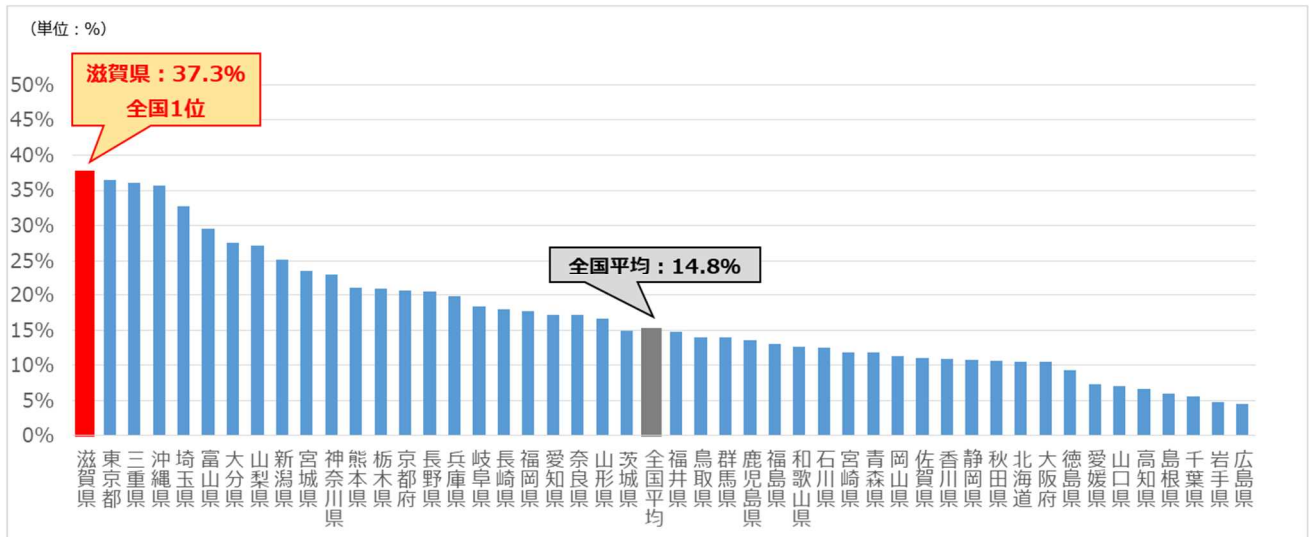
※1回の旅行で、複数回同一都道府県を訪問したサンプル情報が得られた場合、重複カウントして集計。
 ※同一都道府県内の流動も集計対象とする。

資料: RESAS「外国人移動相関分析(2019年)」

9. 都道府県別自然公園面積割合

令和3年3月31日現在の滋賀県の自然公園面積割合は37.3%で、全国1位となっています。

図表 35 都道府県別自然公園面積割合



資料：環境省「自然公園都道府県別面積総括」（令和3年3月31日現在）

10. 国指定の重要文化財（国宝含）指定件数

令和3年11月1日現在、滋賀県の国指定の重要文化財(国宝含)指定件数は827件で、全国4位となっています。

図表 36 国指定の重要文化財（国宝含）指定件数

順位	都道府県	国宝・重要文化財総数
1位	東京都	2,833件
2位	京都府	2,199件
3位	奈良県	1,327件
4位	滋賀県	827件
5位	大阪府	683件
6位	兵庫県	471件
7位	和歌山県	395件
8位	神奈川県	352件
9位	愛知県	338件
10位	静岡県	224件
	全国平均	284件

資料：文化庁「文化財指定等の件数」（令和3年11月1日現在）

11. 平均寿命

厚生労働省によると、滋賀県の平均寿命は、男性 81.78 歳で全国1位、女性 87.57 歳で、全国 4 位となっています。

図表 37 都道府県別平均寿命

順位	男		女	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命
…	全国	80.77	全国	87.01
1	滋賀	81.78	長野	87.67 (87.675)
2	長野	81.75	岡山	87.67 (87.673)
3	京都	81.40	島根	87.64
4	奈良	81.36	滋賀	87.57
5	神奈川	81.32	福井	87.54
6	福井	81.27	熊本	87.49
7	熊本	81.22	沖縄	87.44
8	愛知	81.10	富山	87.42
9	広島	81.08	京都	87.35
10	大分	81.08	広島	87.33

資料：厚生労働省「平成 27 年都道府県別生命表の概況」

12. 健康寿命

厚生労働省によると、2016 年における滋賀県の健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)は、男性 80.39 歳で全国 2 位、女性 84.44 歳で全国 3 位となっています。

図表 38 都道府県別健康寿命

順位	男		女	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命
…	全国	79.47	全国	83.84
1	長野	80.55	長野	84.60
2	滋賀	80.39	大分	84.57
3	奈良	80.27	滋賀	84.44
4	愛知	80.01	静岡	84.39
5	神奈川	79.98	佐賀	84.29
6	京都	79.90	岡山	84.23
7	静岡	79.89	島根	84.20
8	広島	79.82	兵庫	84.14
9	岐阜	79.81	宮城	84.12
10	福井	79.79	福岡	84.09

資料：厚生労働省「厚生労働科学研究「健康寿命の全国推移の算定・評価に関する研究（全国と都道府県の推移）」（平成 29 年度分担研究報告書）」

13. ロケ誘致件数

滋賀ロケーションオフィスでは、令和2年度に158件のロケ適地情報を映像制作会社に提供するなど、ロケ支援を行いました。そのうち、106件が実際にロケを実施しており、積極的なロケ誘致を図っています。

図表 39 滋賀ロケーションオフィス ロケ支援件数推移

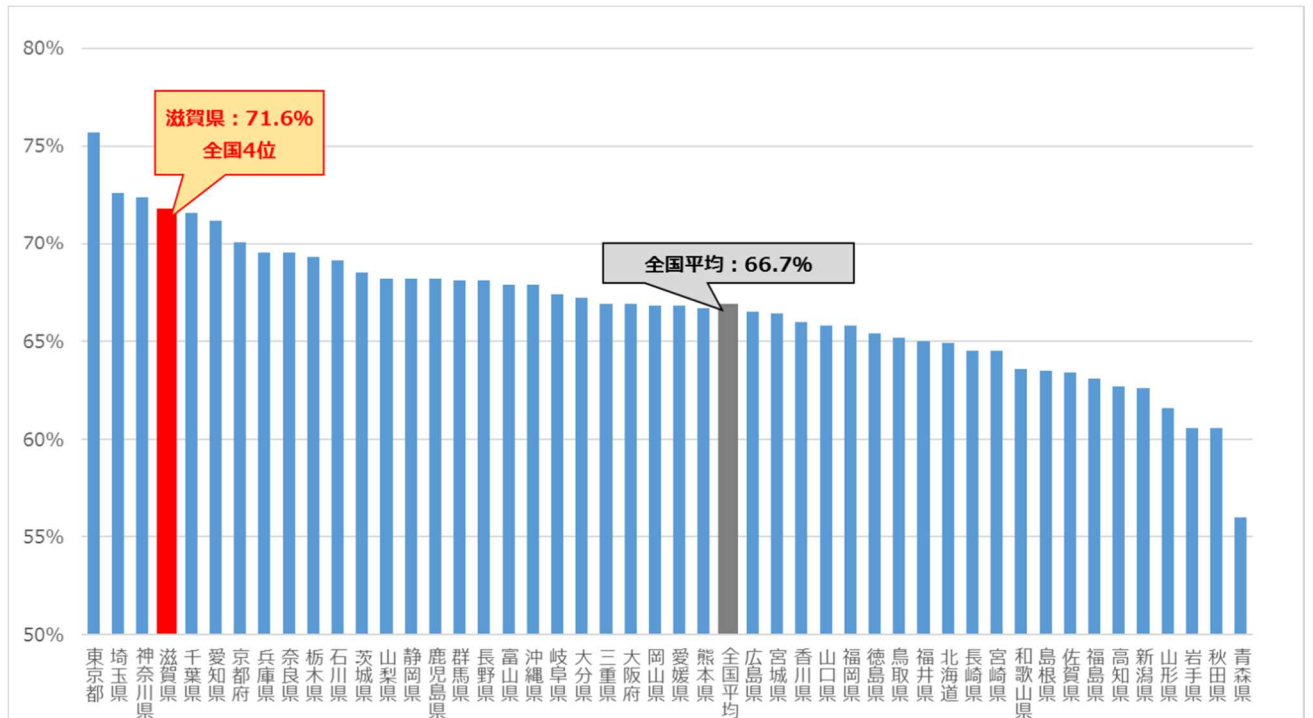
区分	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
	ロケ情報提供件数	ロケ実施件数	ロケ情報提供件数	ロケ実施件数	ロケ情報提供件数	ロケ実施件数	ロケ情報提供件数	ロケ実施件数	ロケ情報提供件数	ロケ実施件数
映画	22	11	31	9	23	10	27	10	16	0
テレビドラマ	68	54	50	45	73	60	44	118	36	53
テレビ	31	17	29	20	21	7	22	12	47	29
CM等	59	29	58	29	68	19	44	20	59	24
計	180	111	168	103	185	96	137	160	158	106

資料：滋賀ロケーションオフィス「ロケ支援件数」

14. 都道府県別スポーツの年間行動者率

平成28年の滋賀県のスポーツの年間行動者率（10歳以上）は71.6%で、全国4位となっています。

図表 40 都道府県別スポーツの年間行動者率



資料：総務省「平成28年社会生活基本調査」

15. 都道府県別国際会議開催件数

日本国内で行われる国際会議は、東京都での開催が圧倒的に多く、近畿圏では京都府、大阪府、兵庫県での開催が多くなっています。一方、滋賀県内では、平成20年から平成25年では複数回開催されていますが、他府県と比較して決して多いとは言えません。

図表 41 都道府県別国際会議開催件数の推移

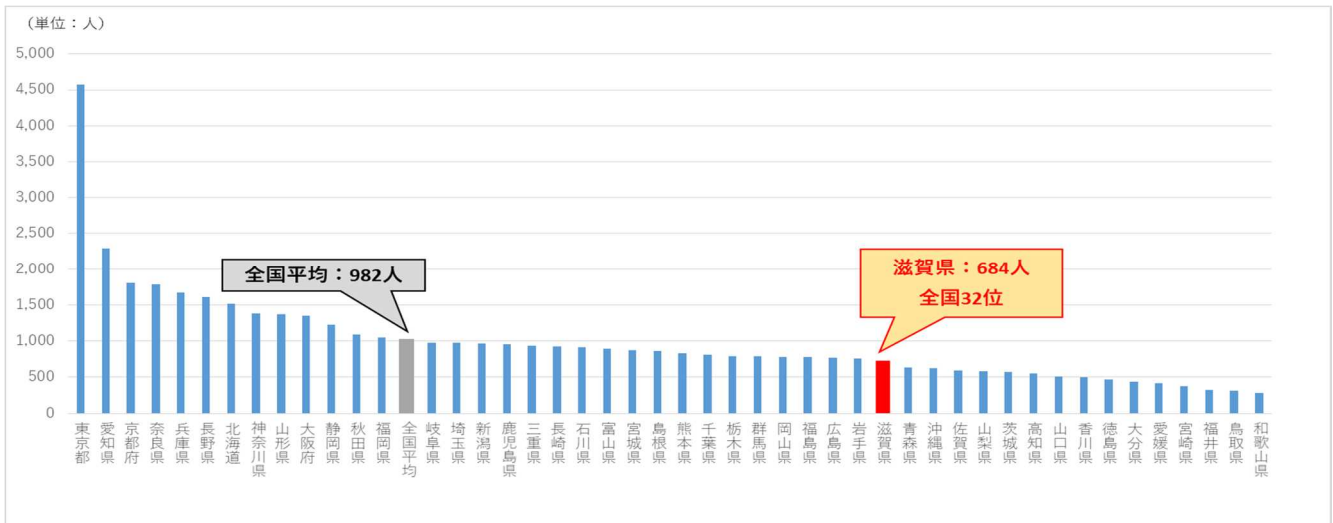
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
東京都	505	510	484	517	537	565	583	593	631	670	581
滋賀県	4	8	3	6	6	0	1	1	5	1	6
京都府	169	160	145	202	179	211	230	290	334	367	398
奈良県	20	36	24	37	34	48	36	45	33	39	35
和歌山県	1	1	0	3	6	2	1	0	2	3	5
大阪府	183	152	135	281	314	253	242	280	251	240	300
兵庫県	102	121	105	112	110	100	133	283	422	443	461

資料：日本政府観光局（JNTO）「国内都市別 国際会議開催件数 一覧表」

16. 観光ボランティアガイド数

令和元年の滋賀県の観光ボランティアガイド数は684人で、全国32位となっています。

図表 42 都道府県別観光ボランティアガイド数



資料：（公社）日本観光振興協会「令和元年度観光ボランティアガイド団体調査結果」

17. 「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数

滋賀県では、県内の無料 Wi-Fi「びわ湖 Free Wi-Fi」の普及を図っており、令和2年度末現在の設置数は1186アクセスポイントとなっています。

図表 43 「びわ湖 Free Wi-Fi」アクセスポイント設置数

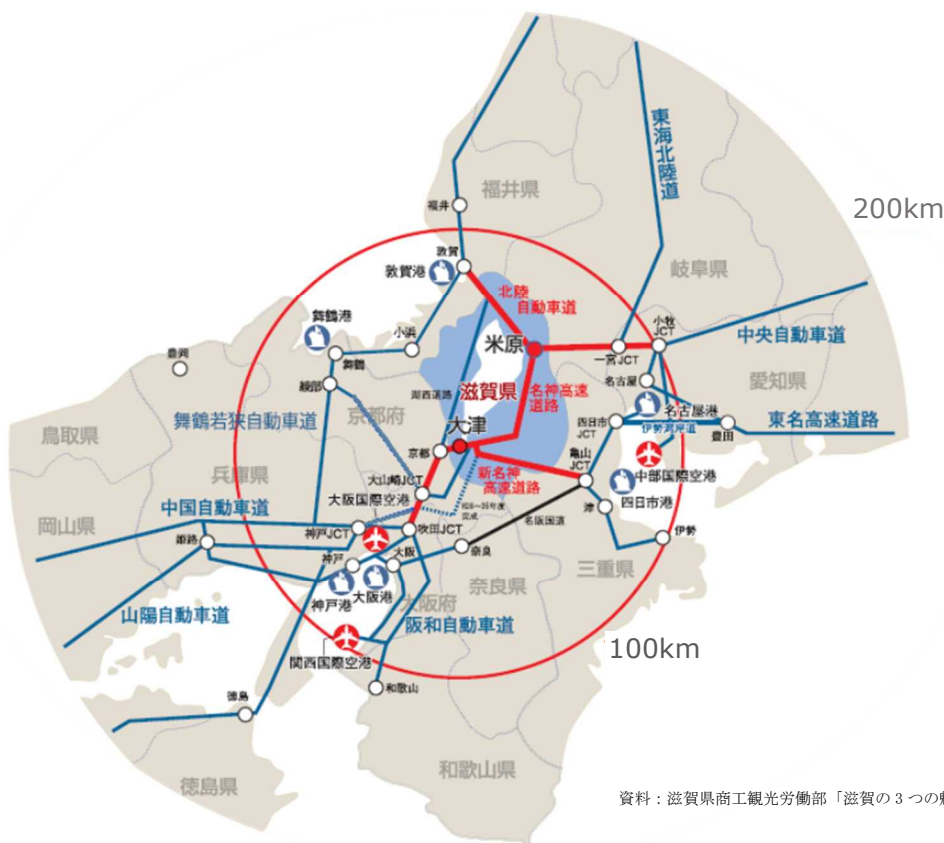
時点	アクセスポイント設置数
平成27年度末	488 アクセスポイント
平成28年度末	677 アクセスポイント
平成29年度末	802 アクセスポイント
平成30年度末	1053 アクセスポイント
令和元年度末	1138 アクセスポイント
令和2年度末	1186 アクセスポイント

資料:滋賀県総合企画部情報政策課「びわ湖 FreeWi-Fi アクセスポイント一覧」

18. 県外からの交通環境

滋賀県は、近畿・中部・北陸をつなぐ交通の要衝に位置し、東海道新幹線、名神高速道路、新名神高速道路および北陸自動車道といった広域交通ネットワークが充実しており、県外からの交通アクセスに恵まれています。また、関西国際空港や中部国際空港からも概ね1時間から1時間半の圏内にあり、国際観光においても非常に利便性の高い立地にあります。

図表 44 滋賀県と各都市を結ぶ高速道路網



資料:滋賀県商工観光労働部「滋賀の3つの魅力」(平成28年)

図表 45 新幹線・在来線の所要時間



資料：滋賀県商工観光労働部「滋賀の3つの魅力」（平成28年）

19. JNTO認定外国人観光案内所数

令和3年10月末現在、滋賀県で何らかの方法で外国語対応が可能としてJNTO（日本政府観光局）に認定を受けている観光案内所の数は、27箇所となっています。

図表 46 JNTO認定外国人観光案内所数

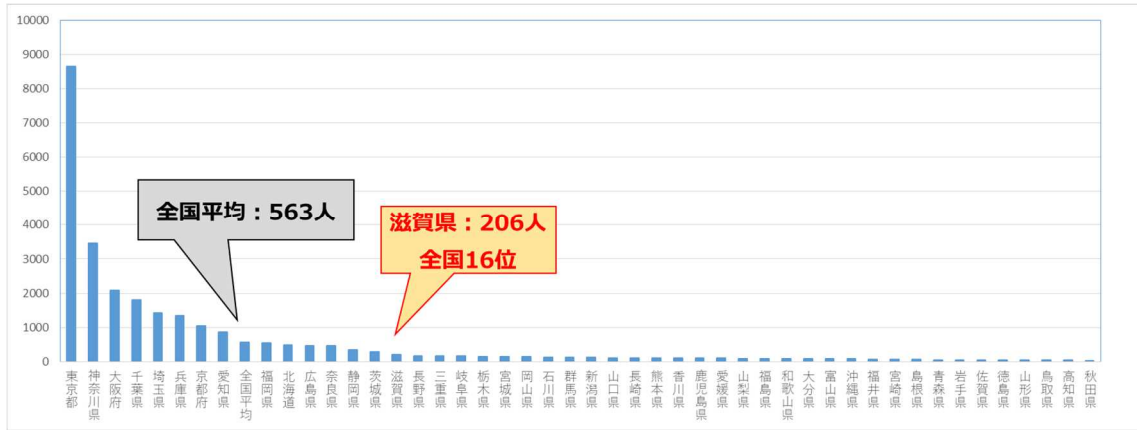
都道府県	箇所数	都道府県	箇所数	都道府県	箇所数	都道府県	箇所数
北海道	105	東京	154	滋賀	27	香川	21
青森	16	神奈川	33	京都	41	愛媛	24
岩手	31	山梨	20	大阪	55	高知	19
宮城	31	新潟	37	兵庫	39	福岡	38
秋田	27	富山	24	奈良	20	佐賀	18
山形	22	石川	36	和歌山	28	長崎	81
福島	20	長野	48	鳥取	17	熊本	25
茨城	17	福井	17	島根	26	大分	23
栃木	24	岐阜	37	岡山	20	宮崎	12
群馬	15	静岡	57	広島	51	鹿児島	23
埼玉	24	愛知	34	山口	26	沖縄	23
千葉	41	三重	22	徳島	11	合計	1,560

資料：「JNTO認定外国人観光案内所一覧」（令和3年10月末現在）

20. 通訳案内士の数

令和3年4月1日現在の滋賀県の通訳案内士の数は206人で、全国16位となっています。

図表 47 通訳案内士の数

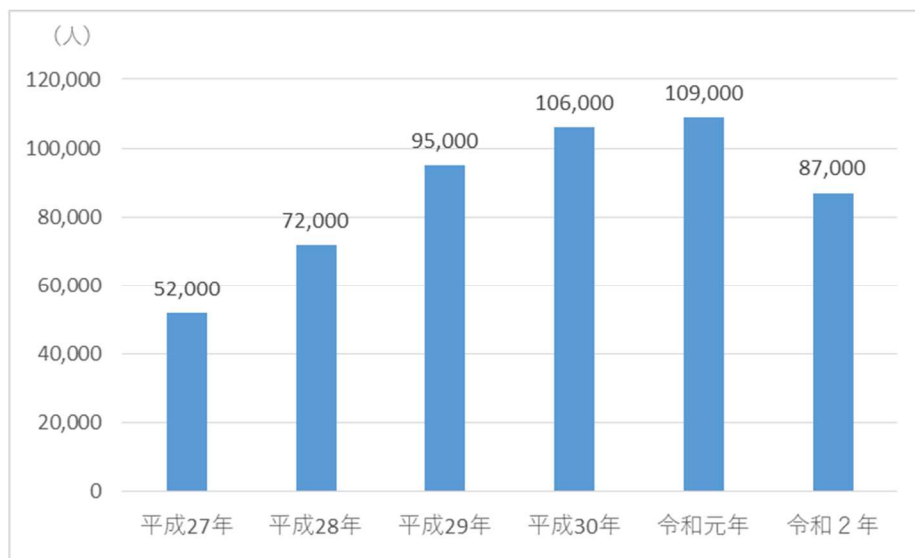


資料：観光庁提供「都道府県別通訳案内士登録者数」

21. ビワイチ体験者数

令和2年のビワイチ体験者数は、87,000人となっています。

図表 48 ビワイチ体験者数の推移



資料：滋賀県商工観光労働部観光振興局ビワイチ推進室提供